

## 【会議録（書面会議）】

会議名	令和2年度 第3回3R推進行動会議
開催日	令和2年12月4日（金） 会議開催通知及び資料送付 令和3年1月5日（火） 委員からの調査票集約 令和2年1月25日（月） 結果通知
開催場所	書面会議により開催
委員	鬼沢座長、猿子委員、石川委員、木原委員、櫻林委員、関根委員、山田委員、大駒委員、荒井委員、石曾根委員、島村委員
事務局	環境リサイクル支援部 みなとりサイクル清掃事務所
会議次第	1 港区一般廃棄物処理基本計画(第3次・素案)について【資料1】 ※調査票での回答を依頼
送付資料	資料1 港区一般廃棄物処理基本計画素案（案） 別紙 意向確認調査票
会議の結果及び主要な意見	
<p>1 港区一般廃棄物処理基本計画（第3次・素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全体的に、体系的かつわかりやすくまとめられていて良いと思う。</li><li>・プラスチックに関しては、コロナの拡大によって、フードデリバリーやテイクアウトが増えており、プラスチック容器や食器が使われるのが増えている印象である。記載のとおり、今後はより一層、様々な場合でのプラスチック削減の取組みや、代替製品の開発・利用の促進等が重要だと思う。</li><li>・フードロスに関しては、一人ひとりが当事者意識を持つことが重要だと思う。また、コロナの影響で、食生活も変わってきていると思う。コロナの影響を分析して、新たな視点で、食品ロス対策を見つめ直す必要があると思う。</li><li>・今回策定された、港区一般廃棄物処理基本計画（第3次）は了承致します。</li><li>・いかに一般区民に広報するかが大切だと思う。</li></ul> <p>何年も3R推進行動会議の委員をやらせてもらっていますが、知り合いの人で、3Rについて知っている人がほとんどいない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・概要は、必要情報が一目でわかる様になっていて大変よいと思います。</li><li>・より詳しく知りたい区民や関係者には、本編のどこを見ればよいかを頁表示してあり親切です。</li><li>・特に数値目標の設定に当たっての解説は重要であり、納得できると思います。また、P26～27の説明も短文、的確になっています。</li><li>・第3次基本計画は、チャレンジングな大変頼もしい内容で、今後のアクションプランに期待しています。行動会議も一緒に頑張りましょう。</li><li>・必要な事と感じました事は、一人ひとりが心かけて減量に臨まなければ達成が望めない事を感じました。</li></ul> <p>毎日の小さな積み重ねを皆で協力を（改めて）参り度く思いました。</p>	

・「食品ロス」は、コンビニで消費期限の見直しがされました事は大変に食品ロスに寄与と思いましたがです。

・P5 以降の図において平成=H、令和=Rと短縮表記されているが、ビジネスマン以外の方向けにはもしかしたらわかりづらいかもかもしれません。表紙裏等で省略記載の解説がどこかにあってもよいのでは？

・P6 港区の状況

外国人籍が多いこと、転入出者が多いこと、昼間人口が多い？ことなども関連要素として含めてはいかがでしょうか？

・P8 R3→「R3目標」としてはいかがでしょうか？

・P9 「特別区」の解説は不要でしょうか？

・ごみ・資源の排出の実態 大変興味深いし、区民・事業者への啓発になるよい内容と思う。実際に不適正排出だったごみの写真も参考までに掲載されていると、許容範囲外がわかってよいのでは？

・P19 文中にある「中央防波堤外側埋め立て処分場」「新海面処分場」かが分かるよう、写真中に図示されているとわかりやすい？

・P29 中に2か所ある「ミックスペーパー」の記載について：これは事業者から排出される紙に限っての表現でしょうか？P42に記載のある「雑紙」→「その他再生可能紙」への名称変更は「ミックスペーパー」には適用されないのでしょうか？

・P29 「ごみ減量アドバイザーの派遣」のくだり「実量測定」という言葉はあまり聞きなじみがないのですが「ごみの自主計量」とかではいかがでしょうか？

・P32 港区では国の最近の動向に先駆け、12年も前から製品プラと容器包装プラの一括回収を進めてきたのは、その地球温暖化抑制に向けた効果も含めて素晴らしく、港区民として誇りに思う。

・港区役所「使い捨てプラスチック」削減方針の詳細はどこかに記載がありますか。

・P33 屋外型ボトルディスペンサー式飲栓の設置はいいと思う。

給水スポットマップも作っているようなら併せて案内があるとよい。

・P34 「容器包装リサイクル制度の問題点」のコラム

わかりやすく整理されていてよいが、③リサイクルが容易な製品「開発」→製品「設計」の方が一般的。

・P48 図の色が薄く読みづらい。くっきりとした図に変更できるとなお良い。

リチウムイオン電池の危険性についても言及してはどうか。

・P3 SDGsの意味を明確にわかりやすく記載してほしい。

SDGsの各目標のアイコンを、ロゴとして啓発に使用してはどうか。

P32 「プラスチックの使用抑制と資源循環」の啓発に「目標14 海洋資源」

P36 「食品ロスの削減」の啓発に「目標2 飢餓」

P42 「資源回収の拡大」の啓発に「目標12 持続可能な消費と生産」

P46 「持続可能な集団回収制度の構築」の啓発に「目標8 経済成長と雇用」

・2019年に施行された法律によって、食品ロス削減の取組が一気に進んだ。海洋プラ

スチック汚染問題も各区の財政状況により広まらないので、都や国に働きかけてほしい。

- ・人口の増減、景気に関係なく柔軟な取組をしてほしい。このような考えを東京 23 区清掃一部事務組合と共有してほしい。

- ・港区は、可燃ごみが家庭ごみより業系持込ごみの方が多いので、3Rの中でも発生抑制に力を入れてほしい。

- ・事業者の方々にも、清掃工場や中央防波堤埋立処分場を見学して埋立場所のひっ迫している状況を知ってほしい。

- ・災害時に、壊れた家具や電化製品をどこへもっていったらよいかわからない。また、他区・他県の災害ごみ受入れについても区として主体的に申入れをしてほしい。

- ・プラスチックの可燃ごみ混入率がほとんど変わっていないので、混入率の少ない工場の広報などを参考にできればいい。

- ・他区も港区のような分別になるよう、地球温暖化の問題として取り組むようリーダーシップをとってほしい。

- ・数値目標について、開示方法・公表回数など、区民や事業者の意識改革・行動変容を促す効果的な手段で実施すべき。

- ・生活排水処理基本計画について、大規模再開発が多く事業・家庭の排水の急増が懸念される。今後も問題なく処理されていくのか、中長期の見通しについて情報開示を希望する。

- ・計画はととも背景等を考えて策定されていました。

また、区民・事業者が自分たちで考え、「排出者」であると自覚できるような取り組みが考えられていると思いました。

- ・最終年度の数値目標に対し、各項目について具体的な取り組みが書かれていたため、特に意見はありません。

(今後について)

- ・他のパブリックコメントとともに、計画への反映を検討していきます。